

事業番号	09 04 35	事業改善シート（27年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜衛生対策事業				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S26 ~		

1 事業の概要

目指す姿	家畜伝染性疾病に対する危機管理体制を強化するとともに、慢性疾病等のコントロールによる生産性向上及び動物用医薬品の適正使用等により、低コストで安全性を確保した畜産物を安定的に生産できる体制を維持する。		
------	---	--	--

現状（予算編成時）	○国際化の進展により、海外からの悪性伝染病の侵入リスクが高まっている。 ○高品質・低コストな畜産物が求められている。 ○豚流行性下痢（PED）等の新しい家畜疾病の発生や飼育環境の悪化等による慢性疾病が散発されている。		
-----------	--	--	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 家畜伝染病予防法、医薬品医療機器等法などにより県が実施することとなっている。
	県民との協働による実施： 実施中	消費安全対策交付金要綱・要領

成果目標・事業内容	① 成果目標（H27）						
	家畜伝染病まん延防止対策を徹底するため、防疫演習を実施するとともに、畜産農家データベースを更新し最新情報を集積する。 慢性疾病等の疾病調査等を継続的に実施する。 動物用医薬品の適正使用の徹底とともに、表示事項等の確認検査のために、店舗巡回を実施する。 ・防疫演習の実施 1回 ・動物由来感染症調査 320検体 ・家畜衛生情報収集 200件 ・動物用医薬品表示事項検査 78店舗 ・畜産農家データベースの整備 対象農場について100%実施						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
		家畜衛生対策事業	直接	慢性疾病の低減等による家畜の生産性向上、動物用医薬品の適正使用の指導、家畜伝染病防疫演習の実施	19,999	20,391	20,142
	自衛防疫組織衛生対策整備	補助金	PEDウイルスまん延防止対策等のため器材を導入交付先(家畜畜産物衛生指導協会)	1,000	400	0	
	合計			20,999	20,791	20,142	

事業コスト	区分(単位:千円)		25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	22,807	20,214	20,999	20,142
		補正予算	100	0	-560	
		合計(A)	22,907	20,214	20,439	20,142
	Aの財源	一般財源	8,265	8,466	8,116	7,911
		県債	0	0	0	0
		国庫支出金	10,771	9,835	10,263	9,688
		その他	3,871	1,913	2,060	2,543
	決算額(B)		22,487	21,026	20,791	
概算人件費	職員数(人)	18.00	18.00	18.00	18.00	
	概算人件費(C)	148,644	148,644	148,968	148,968	
概算事業費(B(A)+C)		171,131	169,670	169,759	169,110	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
防疫演習の実施	4回	1回	3回	達成	1回
動物由来感染症調査	341検体	320検体	326検体	達成	300検体
家畜衛生情報収集	200件	200件	159件	未達成	200件
動物用医薬品表示事項検査	81店舗	78店舗	88店舗	達成	78店舗
畜産農家データベースの整備	対象農場について100%実施	対象農場について100%実施	対象農場について100%実施	達成	対象農場について100%実施

目標に対する成果の状況	・特定家畜伝染病防疫指針の変更に伴い長野県防疫対策マニュアルを改正し、防疫体制の強化を図るとともに、防疫演習の実施と畜産農家データベースの更新により、伝染病発生時の迅速な対応に備えた。 ・動物由来感染症調査は、大腸菌O157の検査を実施し、農場レベルで保菌状況を確認し、衛生的な生産管理体制の向上に努めることができた。 ・家畜衛生情報収集は、家畜の伝染病等の発生が少なかったことに伴い、情報収集件数も目標件数に達しなかった。 ・畜産農家データベースの整備は、更新が必要な対象農場すべてについて、情報集積できた。 ・家畜衛生情報収集のH28目標については、家畜の伝染病等の対象疾病の発生を情報収集するため、計画数から対象疾病に対する情報収集の達成率(%)に変更していく。				
-------------	--	--	--	--	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・防疫演習を実施するとともに畜産農家データベースを更新し、万一家畜伝染病の発生に備える。 ・動物由来感染症の調査を継続的に実施し、食の安全に寄与する。